

第 10 回高砂市上下水道事業審議会における事前質問に対する回答について

質疑等	回 答
<p>料金改定した場合、5・10・20 年後の老朽化や耐震化がどれくらい進むのか。</p>	<p>○耐震化率（配水本管） ・R1 2.5% → R12 15.6%</p> <p>●老朽化率（配水本管） ・R1 84.9% → R12 77.4%</p>
<p>10 年後や 20 年後の新たな工事の内容はどのようなものか。</p>	<p>10 年後や 20 年後の工事は、目標耐用年数を経過した浄水施設や管路の改築・更新を行う予定です。 浄水施設は設備更新事業、管路は配水本管、配水支管、鉛給水管の更新事業を行う予定です。</p>
<p>内部留保資金はどのように変わっていくのか。</p>	<p>内部留保資金については、令和 4 年度に 13,814 千円と資金不足寸前ですが、令和 5 年度に 30%料金改定をすることにより、令和 5 年度に 175,010 千円と回復し、令和 12 年度で 165,936 千円となり、資金不足になることなく推移します。ただし、令和 13 年度には資金不足が発生する予定ですが、経営戦略のフォローアップを今後行い、その中で必要があれば再度水道料金の見直しを行います。</p>
<p>高齢者 2 人世帯（年金生活者）や親子 4 人世帯のモデルケースを水道料金改定前と改定後でどのくらい変わるのか教えてほしい。</p>	<p>使用者（数名）の実績使用水量の平均値で水道料金改定前と改定後の比較を行いました。</p> <p>○高齢者 2 人世帯（年金生活者）の場合 1 カ月 20 m³</p> <p>・現行:1,463 円（基:583 円 従:880 円）</p> <p>・パターン①:1,870 円 差額:407 円増（基:880 円 従:990 円）</p> <p>・パターン②:1,870 円 差額:407 円増（基:880 円 従:990 円）</p> <p>・パターン③:1,914 円 差額:451 円増（基:759 円 従:1,155 円）</p> <p>・パターン④:1,914 円 差額:451 円増（基:759 円 従:1,155 円）</p> <p>●親子 4 人世帯の場合 1 カ月 25 m³</p> <p>・現行:1,903 円（基:583 円 従:1,320 円）</p> <p>・パターン①:2,365 円 差額:462 円増（基:880 円 従:1,485 円）</p> <p>・パターン②:2,337 円 差額:434 円増（基:880 円 従:1,457 円）</p> <p>・パターン③:2,491 円 差額:588 円増（基:759 円 従:1,732 円）</p> <p>・パターン④:2,464 円 差額:561 円増（基:759 円 従:1,705 円）</p> <p>※すべて口径 13mm、税込価格で算出</p>

質疑等	回 答
<p>水道料金の見直しについては、値上げをせざるを得ないと思うが、今後人口減少等の 2030 年問題（日本の人口の 1/3 が 65 歳以上の高齢者になる超高齢化によって引き起こされる問題）もある中で値上げ率は 30% でいいのか。</p>	<p>経営戦略より試算した期間（R3～R12）で必要な財源を確保するためには、30%の料金改定が必要です。</p> <p>今後は経営戦略のフォローアップを行い、その都度適正な料金改定を検討していきます。</p>
<p>災害時の対策として修繕積立金（引当金）等を計上した方がよいのでは。</p> <p>一般的な修繕分と災害等を考慮した特別修繕分とに分け、目的別に計上することも考えてみてはどうか。</p>	<p>修繕引当金は、年度内に発生する可能性が高く、その金額が合理的に見積もることができる場合に、予算計上することができます。逆に言うと、年度内に修繕の実施が確実とは言えない場合は引当金の計上はできません。</p> <p>また、特別修繕引当金は数年ごとに定期的に行われる大規模な修繕に備えて計上するものですので、災害などによる修繕の実施時期が流動的になるものは計上することができないと認識しています。</p> <p>ただし、R3 年度は市内各所で多数の漏水が発生し、水管橋の大規模な修繕も発生したため、修繕費の予算が不足し、補正予算を計上しました。このことから、他市の引当金の状況や引当金計上によるメリット、デメリットを研究し、今後の予算に計上していくかどうかを判断します。</p>
<p>20 代や 30 代の若い人たちは値上げ率を聞いても理解しにくいいため、一般的な家計への影響はどれくらいか、平均的なモデルを示してほしい。</p>	<p>一般的な家計モデルの支出を算出するために、市職員の家計を聞き取りしました。</p> <p><u>○平均公共料金支出：30,371 円</u></p> <p><u>○平均水道料金支出：1,885 円、平均使用水量：25 m³</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン①：2,365 円 ・パターン②：2,337 円 ・パターン③：2,491 円 ・パターン④：2,464 円 <p>※すべて口径 13mm、税込価格で算出</p>
<p>第 10 回審議会資料のパターン①～④で見ると、小口径利用者（口径 13mm、20mm）の負担が比較的小さく、大口径の工場等の負担が高いパターン③またはパターン④の一般家庭に配慮したプランが良い。</p>	<p>—</p>